



図書館のまちを実現するためには

やまと市民討議会

開催結果概要

「やまと市民討議会～図書館のまちを実現するためには」を開催しました！

大和市では、「図書館のまち」を実現することを目指し、市民の方々からご意見やアイデアをいただき、市の取り組みの参考とするため、平成 29 年 11 月 26 日（日）に「やまと市民討議会」を開催しました。

開催にあたっては、普段、市に意見を述べる機会の少ないいわゆる「サイレントマジョリティ」の方々に参加していただくため、無作為抽出した市民 3,000 名に案内を送付しました。

当日は、そのうち申込みをいただいた 33 名の方と市内高等学校 6 校から生徒 10 名が参加しました。



市民討議会の様子

午前のグループワークのまとめ

あなたにとっての
図書館を教えてください

- ・興味のある本や大学にない本、買うほどではない本を借りる場所
- ・集中して勉強や仕事をする場所
- ・リラックス、リフレッシュするための場所
- ・知的好奇心を満たす場所
- ・仲間を広げる、人と繋がる場所
- ・大型本、DVD、紙芝居など、コンテンツの魅力がある場所
- ・無料で利用できる場所

など

なぜ図書館を使う？
使わない？

- 駅から近い ⇔ 家の近くでない
- 席数が多い ⇔ 席数が少ない
- 蔵書が多い ⇔ 古い本が多い
- おしゃべりができる
- ⇔ おしゃべりできない印象
- 予約システムが便利
- ⇔ 登録が面倒で不便
- 実際に本を手にとって読みたい
- ⇔ ネットの方が早い
- 返却が不便

など

「図書館のまち」を実現するための
アイデア・キーワード

- ・「図書館のまち」やシリウスを広く PR できるとよい
- ・様々な駅や施設、スーパー、コンビニで返却ができるとよい
- ・図書館機能を他の施設と複合化できるとよい
- ・新しい本をすぐに宅配レンタルできるサービスがあるとよい
- ・図書館内に保育所を設置するなど、親子連れでの利便性が上がるとよい

など

午後のグループワークのまとめ

4つのテーマに分かれて、各グループで話し合っていました。その後、最も共感できるアイデアについて参加者全員で投票を行いました。

表の見方

グループ番号

課題

解決アイデア

※太枠はグループごとに最も投票数が多かったアイデアです。

テーマ① 大和市どこでも「図書館」を感じられるまちにするには

1グループ	子どもだけで気軽に利用できる図書館が学区にひとつあるとよい	学校の図書室を土日開放、コミセンや学習センターなどで、子どもだけで気軽に、身近に利用できる本を増やそう	2グループ	勉強の相談に乗ってくれる人がいてほしい	大学生や元先生など、できる人 にお願いして学生の勉強を見る 仕組みをつくらう
	いいものがあったとしても良さを伝えていく必要がある	FM やまと・FM 横浜からシリウスを取材・発信し、幅広い世代に届けるため市報やSNSも活用しよう		かたいイメージがある	スポーツ、世界のスイーツ、輪投げ大会など、世代をこえて楽しめるイベントを開催しよう
	図書館への来場者が増えるとうい	5~10年かけて、図書館のPRソングを浸透させよう まずは親を図書館に連れて来て、子どもにも図書館に親しんでもらうために、図書館来場ポイントを貯めてプレゼントをもらおう		図書館の場所を知らない	絵本・音楽・勉強などテーマに特化した「テーマパーク型」図書館をつくらう 図書館マップをつくらう
	返却ポストが少ない	返却ポストを増やし、学校図書室開放などの活動を積み重ねて、「大和は図書館のまち」ということを植えつけよう		行きづらい人がいる	曜日・時間を決めてやまとん GOの「図書館行き」を運行しよう
			図書館のシンボルマークがない	大和市家読推進キャラクター「うちドック」がSNSで図書館情報を発信しよう	

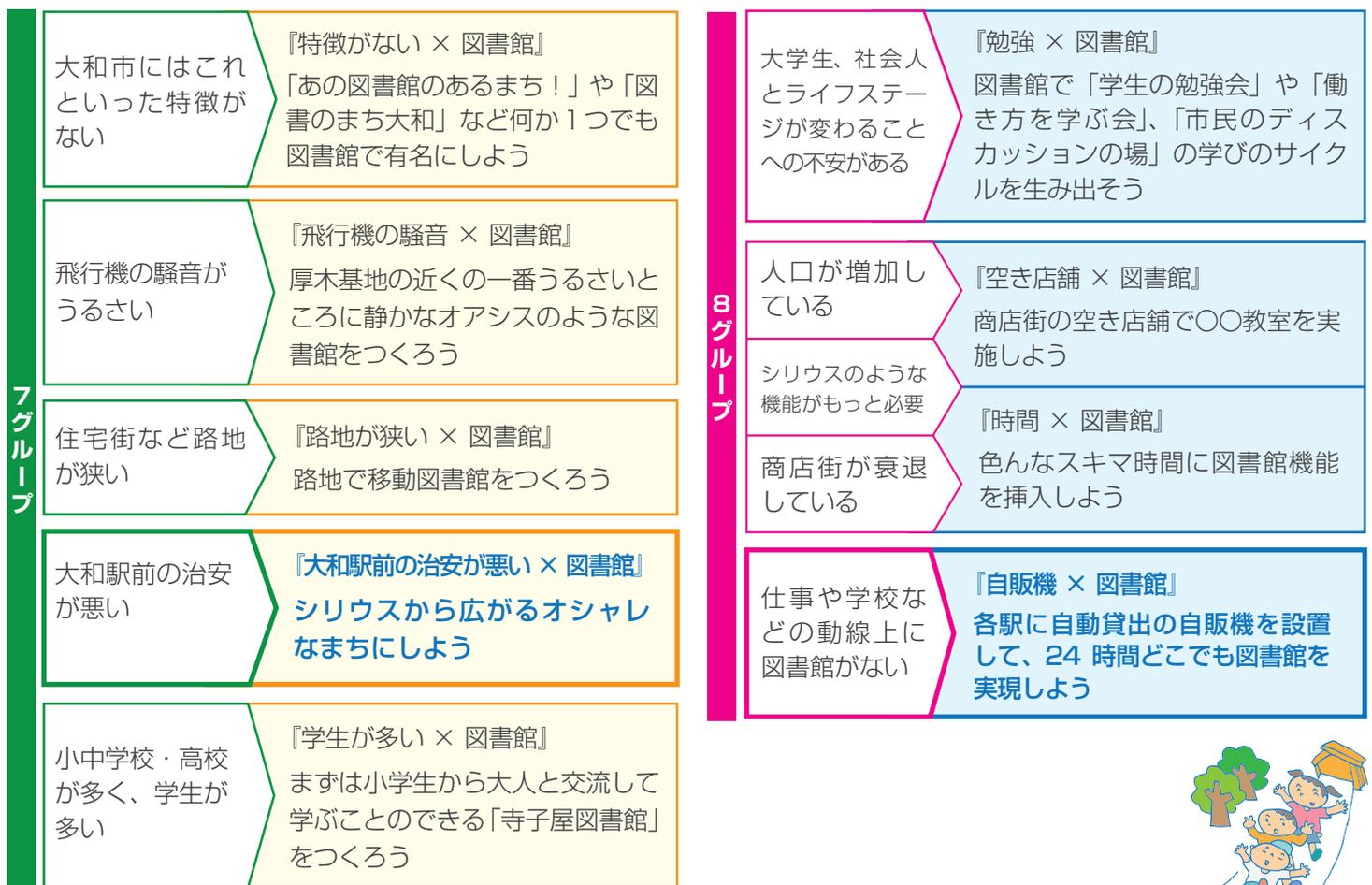
テーマ② 普段のライフスタイルの中に自然にとけこめる「図書館」にするには

3グループ	そもそも読む機会が少ない	利用者となるみんながメディア(アニメ、映画など)から原作を読むような流れを生み出し、読書の促進をはかれるようにしよう	4グループ	ライフスタイルの中に溶け込ませるには2つの視点がありそう a) 図書館自体の来たいと思える魅力をUPする b) 図書館の「良さ」をまちなかに増やす	
	シリウスがこんなにすごいと思わなかった	シリウスが核となって、シリウスの先進性や図書館のまち大和市をさらにPRし、周辺都市も一体となったまちづくりを推進しよう		多世代が交流できて、子どもと大人・お年寄りが来たいと思えるようにする	図書館を子どもや高齢者を見守りあえる場所として、本を読まなくても「来てもいい場所だよ」とPRしよう
	スポーツなどの分野ではコーチだけに頼りがち	スポーツの現場に指導者向けの本を設置することで、スポーツに携わる人が知識を深めるために、図書館へ行くきっかけにしよう		「借りる」「返す」という負担感をもっともっと、そしてもっと減らしたい	各駅に予約本を受け渡しできる宅配boxをつくり、本が届いたらメールが届くシステムをつくらう
	図書館に行くきっかけがない	市とみんな1人1人がおすすめ本のあらすじなどを日常的な場に魅力的に設置することで図書館に来るきっかけにしよう		図書館にわざわざ行くのではなく、「ついで」に行く・利用できるようにするには	まちなかの空き店舗を活用して図書に触れる場所をつくらう 民間企業と連携しよう

テーマ③ 子どもが大人になるまで「図書館」に親しめる環境にするためには



テーマ④ 『〇〇×図書館』 これまでになかった新しい図書館のカタチを生み出すためには

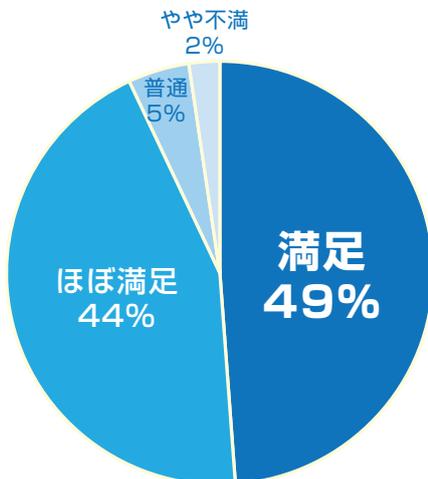


④ 当日のプログラム

時間	実施内容	時間	実施内容
9:30	受付開始	13:20	午前中の成果の共有と後半グループワークの進め方・テーマの確認
10:00	開会のあいさつ・市民討議会の目的について	13:30	午前中に出された意見を受けて、8グループ（5～6人）に分かれて、各グループが1つのテーマについて、意見交換を行います。 テーマ①：大和市どこでも図書館を感じられるまちにするためには テーマ②：普段のライフスタイルの中に自然に溶け込める図書館にするには テーマ③：子どもが大人になるまで図書館に親環境にするためには テーマ④：「〇〇×図書館」これまでにない新しい図書館の形を生み出すためには
10:10	図書館のまちを実現するためには（情報提供）		
10:30	市民討議会の進め方の説明		
10:50	8グループ（5～6人）に分かれて3つのテーマについて席替をしながら意見交換を行います。 テーマ①：あなたにとっての図書館を教えてください テーマ②：なぜ図書館を使う？使わない？ テーマ③：「図書館のまち」を実現するためのアイデア・キーワード		
11:50	グループ成果の発表	15:30	グループ成果の発表
12:20	昼食・休憩	15:55	各グループで良いと思った発表についてシール投票・まとめ
		16:15	閉会のあいさつ・アンケート記入

④ 参加者の感想

<市民討議会への満足度>



<主な感想>

- ・初めての体験でとても楽しかった。様々な意見を聞く事ができ、また自分の意見を高評価してもらうととても嬉しかった。
- ・図書館に行こうと思いました。今まで行ったことがなかったけど、本を読むだけでなく、いろいろあるのでいいなと思います。
- ・自分の住むまちが近々“図書館”をきっかけに、より暮らしやすく変化するかもと希望が持てて嬉しいです。

④ 今後の取り組みについて

今回の市民討議会で頂いた内容は、市民参画で得た貴重な意見として取りまとめ、市の施策展開・検討等の参考としていきます。

URL: <http://www.city.yamato.lg.jp/web/seisaku/seisaku01211799.html>

④ お問い合わせ

大和市 政策部 総合政策課 電話：046-260-5304